

2006年9月期

# 中間決算説明

May,2006



<http://www.yumeshin.co.jp>

Code:2362

夢真ホールディングス

YUMESHIN

# ビジネスモデル 【会社概要 Code:2362】

商号



## 夢真ホールディングス

YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD

【夢真】という社名に託された思い

夢真の「夢」という文字には、常にチャレンジ精神を持ち顧客と社員の夢を実現させる意味があります。

事業戦略

企業価値の極大化

M &amp; A

人材ビジネス  
【人材流動化】

建設周辺業務  
【業界再編】

企業投資業務  
【資産運用活用】

企業概要

2006年3月末 現在

設立・決算  
資本金  
発行済株式数

1980年1月28日(9月決算)  
8億514万円  
74,573,440株【自己株式 2,459,783株】

New

代表役員  
主要株主

代表取締役会長兼社長 佐藤眞吾  
佐藤眞吾47.4% 佐藤淑子4.4%(有) 佐藤総合企画3.6%  
ザバング オブ ニューヨーク ノントリーティ ジャスデック アカント3.2% 大阪証券金融(株) 2.7% 深井英樹2.0%  
BNPパリバセキュリティーズサービス 2.0% 日本マスタートラスト信託銀行(株)1.5%

従業員  
連結子会社

【連結】2,160名 (05年3月末 772名)  
【連結】12社 (05年3月末 2社)

	発行済株式数	概要
04年9月30日	18,643,360株	
05年5月20日	74,573,440株	1株につき4株の株式分割
05年12月13日		05年12月13日発行の円貨建転換社債型新株予約権付社債30億の株式転換予定。株式転換総数7,500,000株
06年6月7日【予】		06年6月7日発行の新株予約権付社債24億の株式転換予定。株式転換総数6,300,000株

# ビジネスモデル 【事業成長ステージ 建設コングロマリット企業への変革期】

2005年度実績ベース  
(前期比売上高成長率%・経常利益率%)



【建設アウトソーシングNO1企業】



“Only-One Company”  
【建設コングロマリット企業】に挑戦

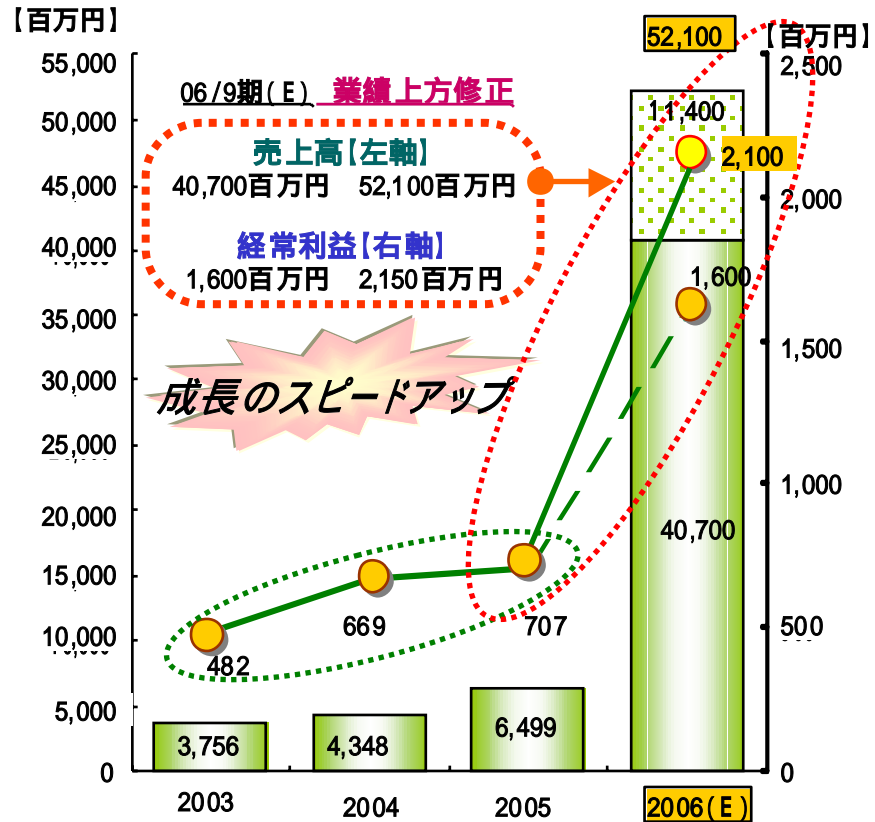
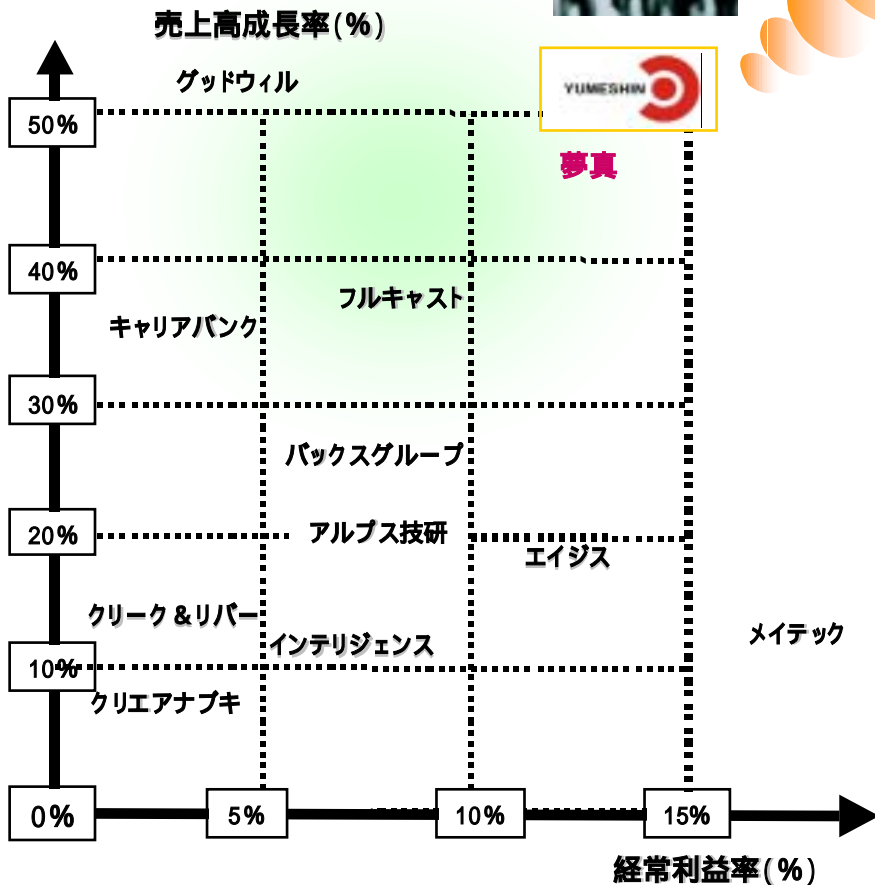
商号変更



【05年4月1日】

持株会社体制へ移行

夢真ホールディングス



# ビジネスモデル 【直近のM&A活動トピックス】

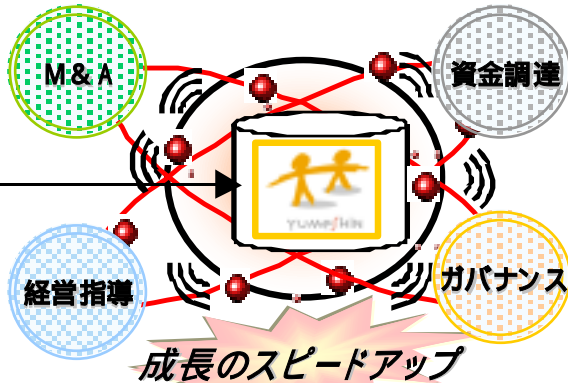
2006年3月末 現在

夢真HD



社員数=19名

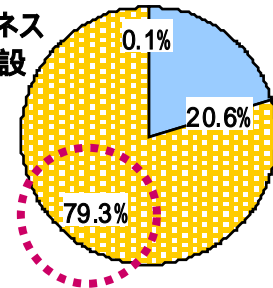
筆頭株主  
事業パートナー



## 売上高構成比

06年9月期中間【実績】

人材ビジネス  
不動産建設  
その他



05/9期

06/9期

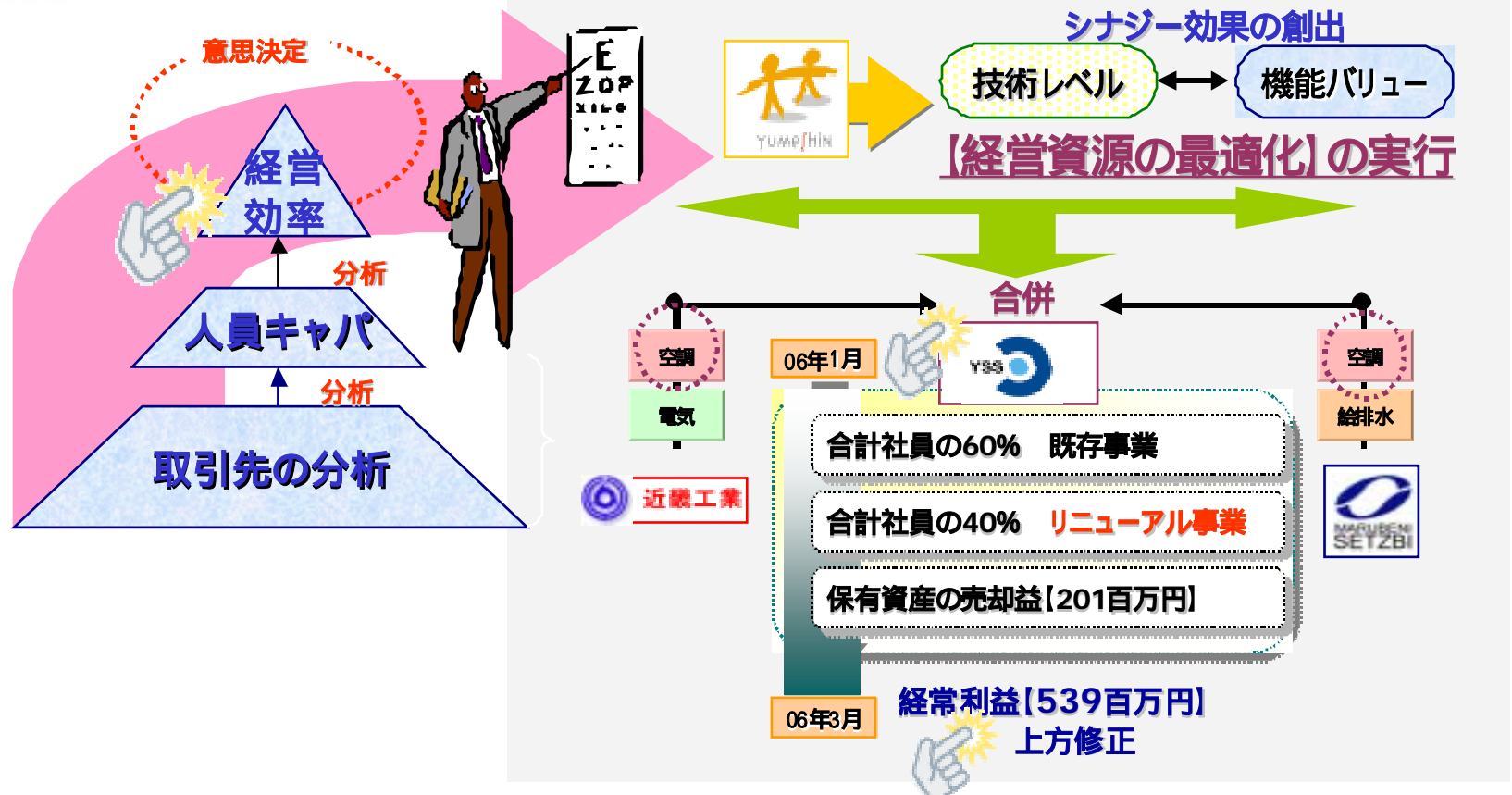
社員数には役員は含まれていません

収益セグメント	グループ化時期	社名(連結子会社)	事業内容	社員数	出資比率	出資形態
人材ビジネス 【業務請負】 【人材派遣】	05年4月	(株)夢真	施工管理業務	745名	100.0%	設立
	05年4月	YUMESHIN VIETNAM	施工図作図	103名	100.0%	設立
	05年5月	(株)夢真エンジニアリング	運転維持管理業務	469名	100.0%	株式譲受
	05年11月	(株)夢真コミュニケーションズ	人材派遣・営業支援	171名	100.0%	株式交換
	05年11月	(株)夢真テクノスタッフサービス	技術者マッチング	2名	100.0%	設立
不動産建設	05年12月	(株)夢真総合設備( 1)	設備工事(電気・空調)	447名	74.6%	株式譲受
	05年12月	(株)アサノ建工( 1)の子会社	土木・地質調査	17名	74.6%	株式譲受
	05年12月	東亜建設技術(株)	建設コンサルタント	148名	100.0%	株式譲受
	06年3月	三和ハウス(株)	不動産業務	9名	100.0%	株式譲受
	06年6月E	勝村建設(株) <i>New</i>	総合建設業	未定	100.0%	新会社設立
その他 【金融】	05年7月	住宅検査(株)	建物検査・瑕疵保証	19名	59.7%	第三者割当
	05年10月	(株)夢真証券	金融資産形成	11名	100.0%	設立
	06年3月	(株)夢真キャピタル	VC事業・企業再生	0名	100.0%	株式譲受





**ビジネスモデル** [06年9月期中間 事業活動トピックス= **合併効果**で収益性向上]



**グループシナジー【収益率改善】 第1弾**

【06年9月中間 **合併前**の当初業績計画】 [単位;百万円]

【6ヶ月間】	近畿工業	丸紅設備	合計
売上高	6,086	11,272	17,358
経常利益	68	327	259
経常利益率	1.1%	2.9%	1.5%

合併3ヶ月後

【06年9月中間 **実績**】



【6ヶ月間】	夢真総合設備	達成率
売上高	19,011	109.5%
経常利益	798	308.1%
経常利益率	4.2%	

[単位;百万円]

計画差異
+1,653
+ 539

# 経営指標 【06年9月期中間 決算報告 1 Summary】

06年9月期中間 前年同期比較

連結

売上高	: 24,735百万円(前年同期 2,599百万円)	851.6%成長
経常利益	: 1,369百万円(前年同期 463百万円)	195.3%成長
当期利益	: 551百万円(前年同期 282百万円)	95.6%成長

新規M & A企業の増加

経営指導力  
【子会社同士の合併効果】

## セグメントの組入企業名

東亜建設技術・三和ハウス・夢真キャピタルは含まず



## 06年9月期中間 セグメント別 売上高実績

(単位:百万円)	05/3期	06/3期	前期比
人材派遣・業務請負	2,599	5,054	94.5%
不動産建設		19,651	
その他		30	
売上高	2,599	24,735	851.6%

## 連結子会社数の推移

06年3月末現在

(単位:百万円)	05/3期	06/3期	前期比
人材派遣・業務請負	3社	5社	+ 2社
不動産建設		4社	+ 4社
その他		3社	+ 3社
合計 子会社(合計)	3社	12社	+ 9社

根幹事業 人材ビジネス 前期比 **94.5%** 高成長!

全体売上高 前期比 **9.5倍** 成長のコア事業成は  
売上高構成比率 **79.4%** 不動産建設

(単位:百万円)	05/3期	06/3期 【当初予想】	06/3期 【実績】	前期比
売上高	2,599	22,400	24,735	9.5倍
粗利益	871		3,592	12.2倍
販売管理費	586		2,589	4.4倍
営業利益	284		1,003	3.5倍
経常利益	463	690	1,369	2.9倍
当期利益	282	350	551	1.9倍

売上高 1,653百万円の上修正

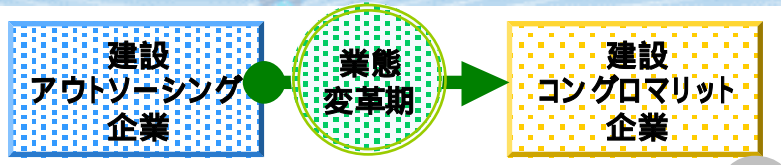
Point 上方修正 → 合併シナジー

経常利益 539百万円の上修正

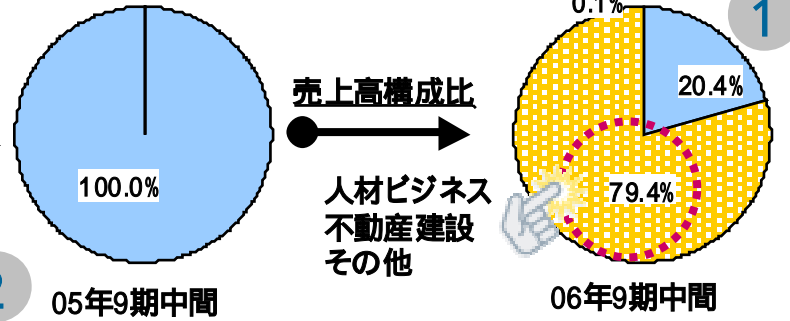


経営指標 【06年9月期中間 決算報告 2 損益計算書】

06年9月期中間 **前期比売上高 9.5倍成長!**  
**1 建設コングロマリット企業として**  
**事業ポートフォリオが大きく変化!**



単位:百万円 (切り捨て) 決算期 9月	05/9期 [中間]	構成比 (%)	06/9期 [中間]	構成比 (%)
人材派遣・業務請負	2,599	100.0%	5,054	20.4%
不動産建設			19,651	79.4%
その他(検査・金融)			30	0.1%
<b>売上高</b>	<b>2,599</b>	<b>100.0%</b>	<b>24,735</b>	<b>100.0%</b>
売上原価	1,728	66.5%	21,143	85.5%
売上総利益	871	33.5%	3,592	14.5%
販売管理費	586	22.6%	2,589	10.5%
営業利益	284	11.0%	1,003	4.0%
営業外収益	235	9.0%	<b>1,681</b>	2.8%
営業外費用	56	2.2%	315	1.3%
経常利益	463	17.8%	1,369	5.5%
特別利益	0	0.0%	41	0.2%
特別損失	0	0.0%	355	1.4%
税金等調整前当期純利益	463	17.8%	1,054	4.3%
法人税・住民税及び事業税 法人税調整額	181	6.9%	503	2.1%
当期純利益	282	10.9%	551	2.2%



2 人件費関連費用の推移

中間期ベース	05/3期	06/3期	増減
労務費[百万円]	1,077	2,366	1,289
人件費[百万円]	251	1,303	1,052
合計( + )	1,328	3,669	+2,341
<b>対売上高比率</b>	<b>51.1%</b>	<b>14.8%</b>	<b>36.3%</b>

従業員数の推移

中間期ベース	05/3期	06/3期	増減
従業員数	772	2,160	+1,388

3 セグメント別営業利益率  
 【人材ビジネスの高収益体制の継続】

中間期ベース	05/3期	06/3期	増減
人材ビジネス	11.0%	10.5%	0.5%
不動産建設		3.0%	

4 M & A活動における損益項目  
 1 保有資産の売却益201百万円

単位:百万円 以下切り捨て

【資産の部】	05/9期	06/3期	増減(6ヶ月)
流動資産合計	16,810	25,704	8,893
固定資産合計	5,069	11,877	6,807
<b>資産合計</b>	<b>21,880</b>	<b>37,581</b>	<b>15,701</b>

【負債の部】	05/9期	06/3期	増減(6ヶ月)
流動負債合計	10,356	16,424	6,067
固定負債合計	8,974	17,226	8,252
<b>負債合計</b>	<b>19,331</b>	<b>33,651</b>	<b>14,320</b>

【資本の部】	05/9期	06/3期	増減(6ヶ月)
資本金	805	805	0
資本・利益準備金	1,910	2,199	165
その他有価証券評価差額	134	220	168
自己株式	803	549	254
<b>資本合計</b>	<b>2,074</b>	<b>2,682</b>	<b>628</b>

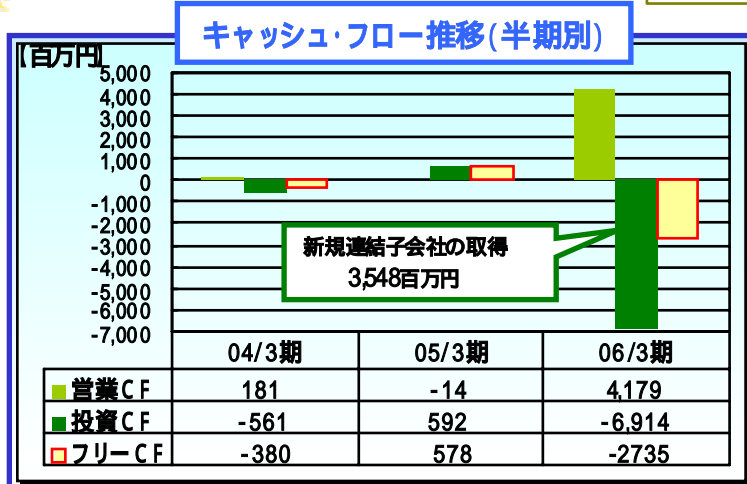
【CF計算書】	04/3期	05/3期	06/3期
営業活動によるキャッシュ・フロー	181	14	4,179
投資活動によるキャッシュ・フロー	561	592	6,914
財務活動によるキャッシュ・フロー	762	1,084	4,671
現金及び現金同等物の増減額	373	1,659	1,937
現金及び現金同等物の期首残高	2,172	1,066	8,343
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,546	2,726	10,280

(単位:百万円)	05/9期	06/3期	増減(6ヶ月)
現金及び預金	10,149	10,586	436
受取手形/売掛金	3,417	11,302	7,884

(単位:百万円)	05/9期	06/3期	増減(6ヶ月)
支払手形/買掛金	4,272	10,112	5,840
投資その他の資産	3,267	5,928	2,661

(単位:百万円)	05/9期	06/3期	増減(6ヶ月)
有利子負債	10,973	17,853	6,880
短期借入	3,206	2,120	1,086
長期借入	7,767	15,733	7,966
有利子負債依存度率	50.2%	47.5%	

5年11月22日 【株式交換で自己株式を活用】





# 経営指標 【06年9月期 業績予測の上方修正】

06年9月期(E) 売上高 前期比8.0倍成長

M&A企業の収益性改善にも注力… 当期利益 前期比3.7倍成長を目指す

New

## 06年9月期 セグメント別 売上高計画

単位:百万円 (切り捨て)	05/9期	06/9期(E) 【修正前】 【修正後】	
人材派遣・業務請負	6,499		9,136
不動産建設		31,404	42,804
その他(検査・金融)			160
売上高	6,499	40,700	52,100

【06年6月予定】

New



勝村建設

【百万円】	06/9期E
売上高	10,850
経常利益	260

M&A  
ゼネコン

1

2

2

## 06年9月期 業績計画 Point

1. 企業投資事業 = 夢真証券・夢真キャピタルは含まず
2. 勝村建設 = 暖簾金額 [+400百万円] で想定

(単位:百万円)	05/9期	06/9期(E) 【修正前】 【修正後】		前期比
売上高	6,499	40,700	52,100	701.6%
粗利益	1,873	6,100	6,770	261.3%
販売管理費	1,524	4,270	4,510	180.1%
営業利益	349	1,830	2,260	546.3%
経常利益	707	1,600	2,150	203.8%
当期利益	323	880	1,200	271.3%
EPS (円)	4.1	11.8	16.1	

06年3月現在 発行済株式数 自己株式(2,459,783株)で算出

(単位:百万円)	05/9期	06/9期(E) 【修正前】 【修正後】		増減額
人件費	605	2,288	2,800	+2,195
広告募集費	206		141	65
M&A関連費	91		100	+9

【06年9月中間実績】



経営指導



合併シナジー効果  
上方修正済

【百万円】	06/9期 中間
上方修正額	
経常利益	+539

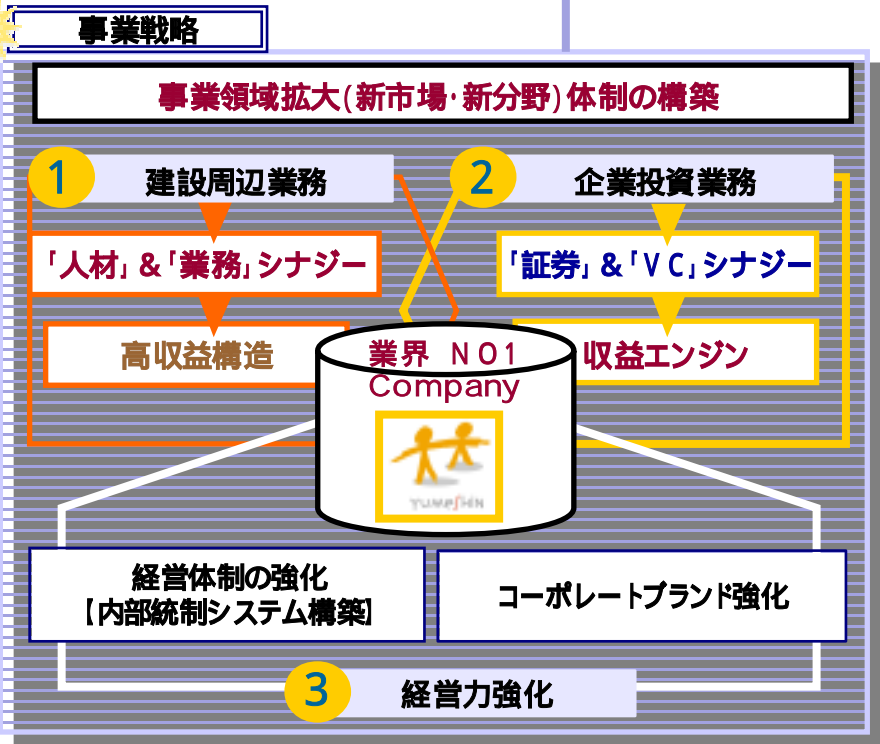
2

「夢真HD 企業価値の極大化」のスタート

～ 売上規模至上主義から収益性重視経営への変革～



M & A活動は2nd STAGEでも継続



# 今後の事業戦略 【建設周辺業務のOne Stop Solutionの確立】

05/9期下期 ~ 06/9期上期

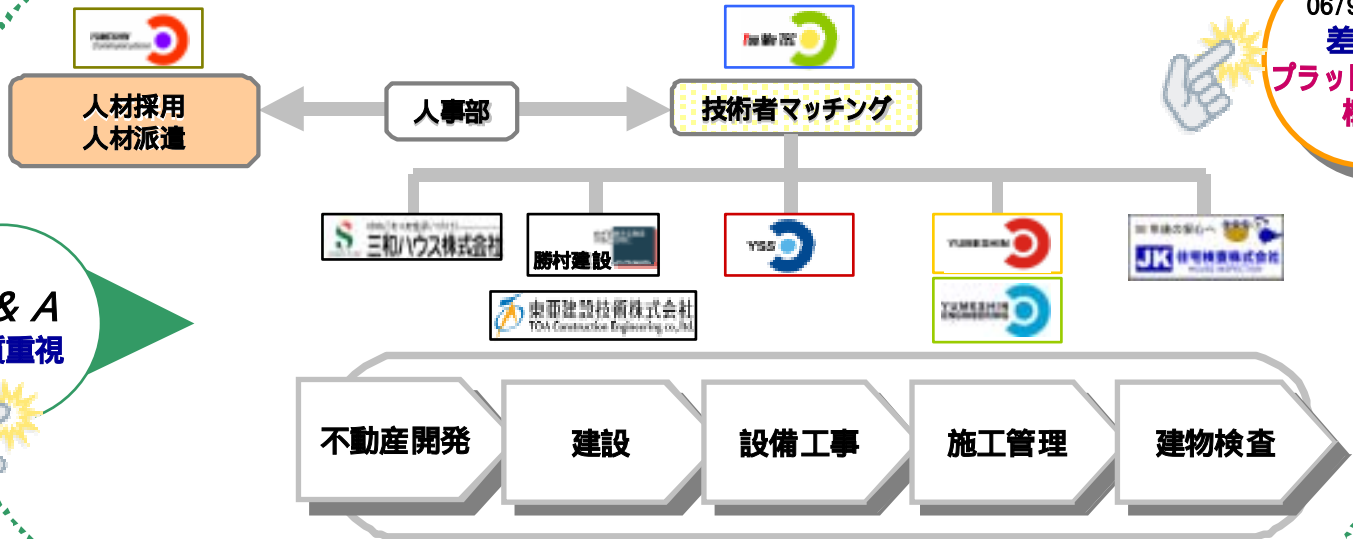
Conglomerate 【集合体】

## 1st STAGE

### 「建設周辺業務 コングロマリット」体制の構築

06/9期上期  
差別化  
プラットフォーム  
構築

M & A  
品質重視



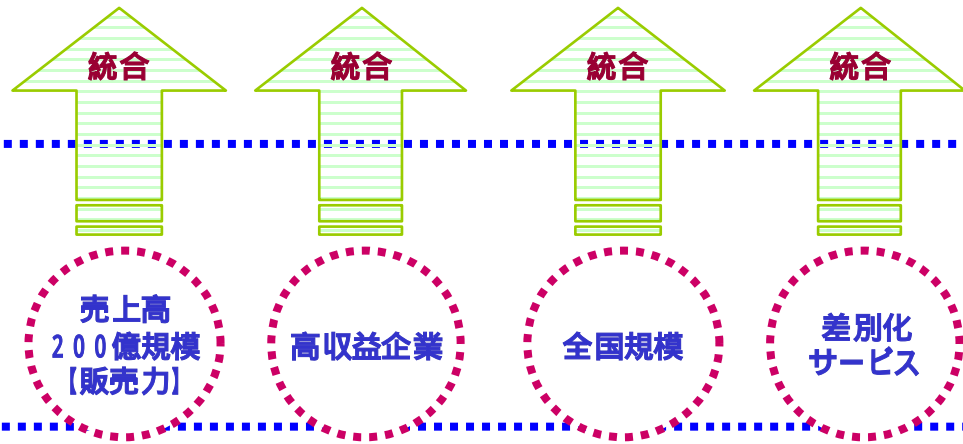
### 「建設周辺業務 プラットフォーム」体制・・・“Only-One Company”

06/9期下期 ~

## 2nd STAGE

収益性重視へ  
N01  
Company

M & A  
シナジー重視



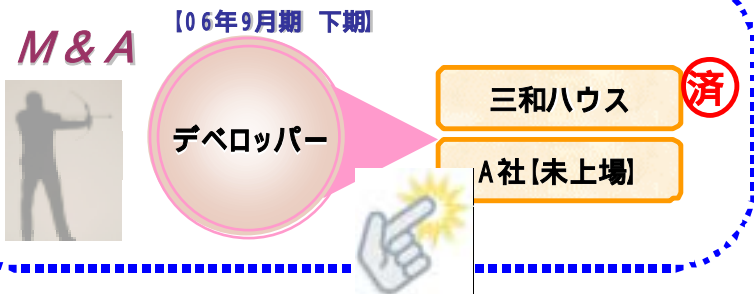
# 今後の事業戦略 [ 不動産建設業務のグループシナジー効果の創出 ]

06年9月期下期(E) 3つのシナジー効果で 不動産事業の高収益構造を目指す！

**2nd STAGE**  
収益性重視

不動産売上高の増加

1



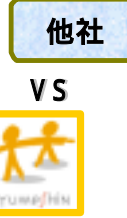
06年3月

不動産事業



2

グループシナジー  
収益面の優位性



事業価値の向上

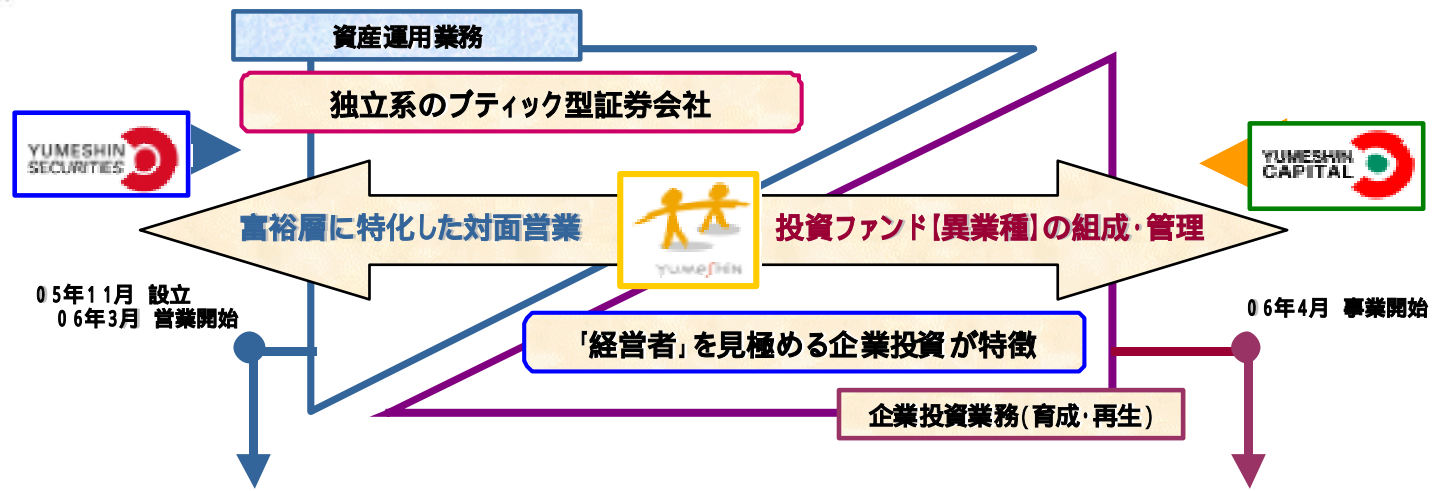
3

不動産仕入業務の強化





# 今後の事業戦略 【将来の収益エンジン事業=企業投資業務のスタート】



野口晴弘	代表取締役社長の略歴
1972年4月	野村證券(株) 入社 【支店長3店舗・本店営業部・大阪金融法人部】
1988年2月	アリコジャパン(株) 入社
2004年4月	エース証券(株) 入社
2005年10月	当社 代表取締役社長 就任

入口和徳	代表取締役社長の略歴
1982年8月	日本合同ファイナンス(株)【現在 (株)ジャフコ】 【VC業務・融資・リース業務】
1990年2月	野村ファイナンス(株) 入社
1999年6月	(株)ジャフコ 入社
2005年7月	東京債権回収(株) 入社
2006年3月	当社 代表取締役社長 就任

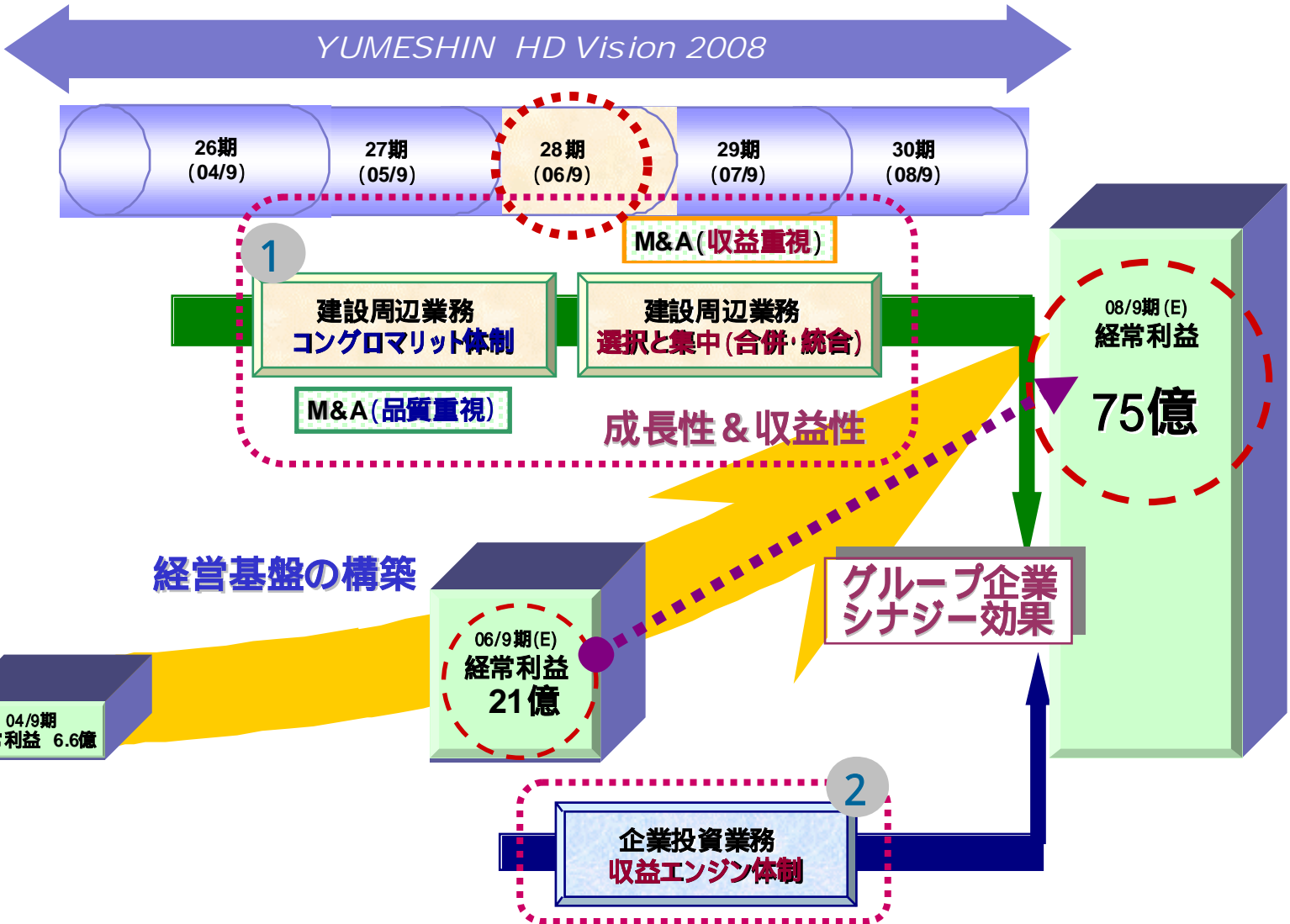


YUMEJIN

将来の収益エンジン 投資と運用のシナジーの追及 IPO支援体制の確立

中期利益計画 【高収益構造の構築=企業価値の極大化に注力 - 1】

高収益体制の “Only-One Company” を目指して



# 中期利益計画 【高収益構造の構築=企業価値の極大化に注力 - 2】

08年9月期経営指標目標

実質ベース

既存事業ベース

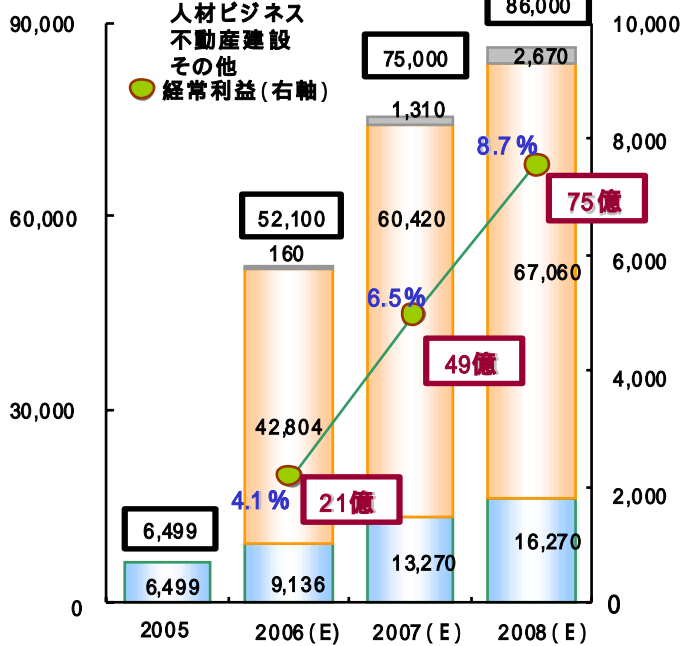
売上高 1,360億

売上高 86,000百万円

経常利益 100億

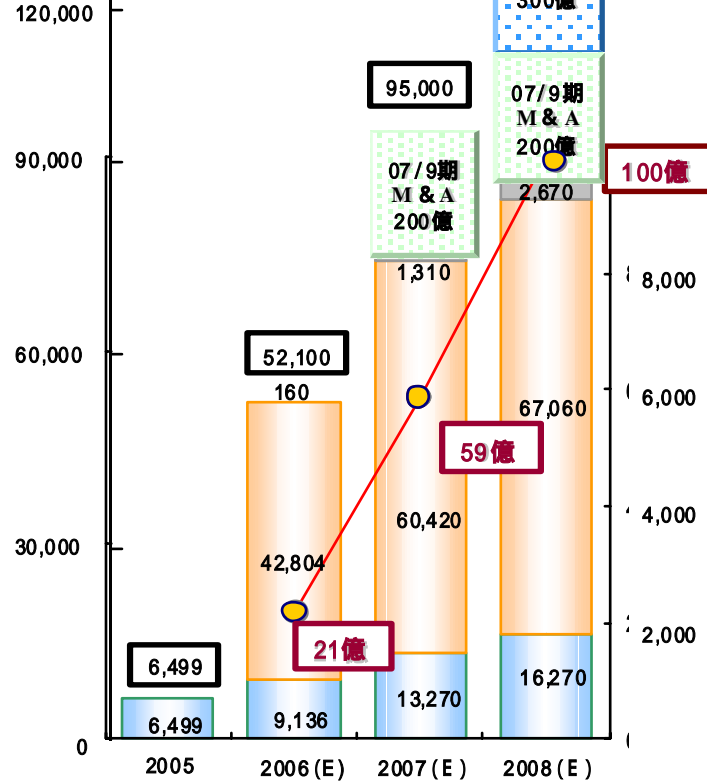
経常利益率 8.7%

単位：百万円



単位：百万円

人材ビジネス  
不動産建設  
その他  
● 経常利益 (右軸)



Point

1. 夢真HDの経営指導料は含まず
2. 企業投資事業はIPO売却益は含まず
3. 勝村建設【暖簾金額】=【800百万円】
4. 夢真テクノスタッフは含まず

ご注意；上記の中期利益計画は現在の当社の目標であり、  
確約するものではありません。

投資家の皆様に・・・今後もM&A活用による企業成長を期待して下さい



エクセレント・カンパニー  
への道を走ります

シナジー効果を生むM&A



株主価値の極大化



[ir@yumeshin.co.jp](mailto:ir@yumeshin.co.jp)

代表取締役会長兼社長 **佐藤真吾**

執行役員財務経理部 部長 **島田 健司**

IR室長 **高田 義春**

担当総務部 IR担当 **長岡 章夫**

本資料は、2006年9月期中間決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2006年5月26日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。